

登録コード	THH10200	開講年度	2026			
授業科目	建築設計製図基礎				担当教員	遠藤 洋平
英文授業名	Architectural Design and Drawing Basics				副担当	諏訪田 晴彦・羽藤 広輔・梅干野 成央・松田 昌洋・中谷 岳史
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・5時限	対象学生
講義室	共通教育4 7 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Tカリ					
	【26T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				⇔	To understand the fundamentals of architecture
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	設計を行う上で基本となる図面の内容や描き方とともに、木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造といった異なる種類の工法について概説し、建築物の構成について学ぶ。 また、スケッチや表現技法について学び、建物鑑賞や美術鑑賞をすることで、デザインに対する理解を深める。 授業は各担当教員によるオムニバス形式で行う。					
(5)授業計画	第1回（9/30）：模型講評、製図基礎（梅干野） 第2回（10/7）：図面講義、木造の事例紹介と工法①（松田） 第3回（10/21）：木造建築の事例紹介と工法②（松田） 第4回（10/28）：木造建築の事例紹介と工法③（松田） 第5回（11/4）：木造建築を題材とした表現（羽藤） 第6回（11/11）：建物見学（伝統建築）・美術鑑賞（伝統美術）（中谷・1年担任） 第7回（11/18）：鉄筋コンクリート造建築の事例紹介と工法①（諏訪田） 第8回（11/25）：鉄筋コンクリート造建築の事例紹介と工法②（諏訪田） 第9回（12/2）：鉄筋コンクリート造建築の事例紹介と工法③（諏訪田） 第10回（12/9）：鉄筋コンクリート造建築を題材とした表現（羽藤） 第11回（12/16）：建物見学（現代建築）・美術鑑賞（現代美術）（中谷） 第12回（12/23）：鉄骨造建築の事例紹介と工法①（遠藤） 第13回（1/6）：鉄骨造建築の事例紹介と工法②（遠藤） 第14回（1/13）：鉄骨造建築の事例紹介と工法③（遠藤） 第15回（1/20）：鉄骨造建築を題材とした表現（羽藤） （＊）授業日程に変更がある場合は授業中や掲示等でアナウンスする					
(6)成績評価の方法	講義時間中に作成する課題、出席を総合的に評価する。基本的に90-100点を秀、80-89点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。なお、評価を受けるには、全ての課題の提出を必要とする。 ※出欠の確認は、出席確認システムを利用する。					
(7)成績評価の基準	（1）建築物の構成を理解しており、（2）建築図面の基本的な要素を正確に描くことができ、（3）図面における線種を使い分けことができ、（4）図面のレイアウトが適切であり、かつ、（5）表現が魅力的であれば「卓越している」。4項目までできていれば「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」、2項目までできていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業の最後に、授業内容をふまえた課題を出す。次の回の授業で、その理解度や達成度を確認する。					
(9)履修上の注意	授業では製図道具を使用する。 詳細については、事前に案内をする。					
(10)質問,相談への対応	授業中に随時質問して下さい。 また、下記の電話やメールでも受け付けます。 遠藤 洋平：工学部建築学科棟3階302（内線5345） e-mail：endii@shinshu-u.ac.jp					
(11)その他						
【教科書】	櫻井良明『改訂版 建築製図 基本の基本』（学芸出版社、2023）3200JPY+tax 内田祥哉『建築構法』（市ヶ谷出版社、2007）3000JPY+tax					
【参考書】	近江栄ほか『建築図楽概論 改訂増補版』（彰国社、1991年）2400JPY+tax 松下希和ほか『やさしく学ぶ建築製図』（エクスナレッジムック、2022年）2600JPY+tax					